

科目区分	基礎分野	履修学年	1 年前期	単位数	1	時間数	15
科目名	生命倫理			担当教員	福田悦子・専任教員		
使用テキスト							
テキスト以外の教材・参考書等							
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>日々発展する医療に、どのような歴史があり生命倫理という学問が生まれたのかを知ったうえで、看護職として倫理的問題を常に考え続ける姿勢をもつ基盤を養う。</p> <p>本授業ではパターナリズム、自己決定権、安楽死と尊厳死、出生前検査、人工妊娠中絶、治験、臓器移植など、生命倫理の諸問題について触れ、倫理的問題を考える機会とする。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療の発展とともにどのような倫理的問題がでてきたのかを理解することができる。</li> <li>2. ビーチャムとチルドレスの 4 つの原則を学び、倫理的問題を見つけ考え続けることの大切さを理解することができる。</li> </ol>							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：専門基礎分野,専門分野						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	倫理とは何か どのような歴史的背景があり生命倫理が学問として発展したか	専任教員
2	パターンリズムから自己決定へ 倫理的問題を考える上で重要な「価値観」を形成するもの	専任教員
3	生命の誕生に関わる倫理(体外受精、出生前診断、リプロダクティブヘルス・ライツと人工妊娠中絶)	専任教員
4		
5	終末期に関わる倫理 QOL と SOL(安楽死と尊厳死含む)	専任教員
6	臓器移植、治験、再生医療等に関わる倫理的問題	福田講師
7	ビーチャムとチルドレス 4つの倫理原則を用いた事例検討	専任教員
8	終講試験 まとめ解説	専任教員